

施策の評価

施策の柱 柱⑤ 放課後改革 ～家庭・地域における取組への支援～

1. 施策の主要目標の達成度

施策の主要目標	目標達成度	判断理由												
<p>① すべての子どもたちに放課後の健やかな育ちと豊かな学びを保障する。</p> <p style="text-align: center;">目標達成のための主な手段 事業 36</p>	A	<p>◆放課後学び場（児童クラブ・子ども教室）の実施校率を着実に伸ばすとともに、希望するすべての学び場の学習環境を整えることができた。 【学び場実施校率の推移】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>小学校</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>中学校</p> </div> </div> <p>◆放課後学び場応援事業（環境整備）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th></th><th>H21</th><th>H22</th></tr> <tr><td>小中学校実施箇所</td><td>146</td><td>175</td></tr> </table> <p>◆放課後学び場において、支援の必要な子どもに対する利用料の減免制度を創設した。 H22年度 17カ所で活用</p> <p>◆放課後学び場人材バンクの登録者数が増え、着実に活用されている。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th></th><th>H21</th><th>H22</th></tr> <tr><td>登録者数</td><td>168</td><td>250</td></tr> </table>		H21	H22	小中学校実施箇所	146	175		H21	H22	登録者数	168	250
	H21	H22												
小中学校実施箇所	146	175												
	H21	H22												
登録者数	168	250												
<p>② PTA と協働して子どもの基本的な生活習慣を定着させるとともに、地域できめ細やかな家庭教育支援体制をつくる。</p> <p style="text-align: center;">目標達成のための主な手段 事業 37</p>	C	<p>◆生活習慣の定着を目的に取り組んだ「生活リズムカード」の提出数は目標値に届かなかった。 【チェックカード点検実施率】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th></th><th>H22実績</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>保育所・幼稚園</td><td>48%</td><td>80%</td></tr> <tr><td>小学校</td><td>73%</td><td>80%</td></tr> <tr><td>中学校</td><td>43%</td><td>80%</td></tr> </table> <p>※提出者数 延べ 23,300人（目標 30,000人）</p> <p>◆家庭学習の定着に取り組む PTA への事業委託契約を目標通りに実施し、支援体制を整えることができた。 30PTA に委託</p> <div style="margin-left: 20px;"> <p>安芸地区：3PTA 香美・香南地区：2PTA 高知市：4PTA 土長南国地区：1PTA 吾川地区：3PTA 高岡地区：13地区 幡多地区：4PTA</p> </div>		H22実績	目標値	保育所・幼稚園	48%	80%	小学校	73%	80%	中学校	43%	80%
	H22実績	目標値												
保育所・幼稚園	48%	80%												
小学校	73%	80%												
中学校	43%	80%												
<p>③ 地域社会全体が学校を支える仕組みをつくる。</p> <p style="text-align: center;">目標達成のための主な手段 事業 38</p>	B	<p>◆学校支援地域本部事業の実施件数やボランティアの活動者数、活動回数を増やすことができた。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>実施市町村数</td><td>1増 (H21：18→H22：19)</td></tr> <tr><td>学校支援地域本部数</td><td>1増 (H21：21→H22：22)</td></tr> <tr><td>実施校</td><td>2増 (H21：60→H22：62)</td></tr> </table> <p>ボランティア活動者数 3,298人（前年度比13%増） 活動回数 5,457回（前年度比28%増）</p>	実施市町村数	1増 (H21：18→H22：19)	学校支援地域本部数	1増 (H21：21→H22：22)	実施校	2増 (H21：60→H22：62)						
実施市町村数	1増 (H21：18→H22：19)													
学校支援地域本部数	1増 (H21：21→H22：22)													
実施校	2増 (H21：60→H22：62)													

2. 施策を構成する個別事業・取組の評価結果

個別事業・取組	目標達成度	検討項目	総合評価
36 放課後子どもプラン推進事業	A		すべての子どもたちに健やかに豊かな放課後を保障するために、県内すべての小学校を対象として子どもの居場所づくりに取り組み、目標数を超える小中学校で実施することができた。 また、学習習慣の定着を目指して、放課後学び場の充実や人材の確保等、市町村を支援する取組を行った。
37 子どもの生活リズム向上推進事業	C	工、オ	児童生徒の生活リズムの向上と家庭学習習慣の定着について、PTA と協働して取り組むことにより、徐々にではあるが生活改善の傾向を見ることができた。
38 学校支援地域本部事業	B		学校や地域の実情に応じた、読書活動支援や学習支援などのボランティア活動が行われている。実施本部からは学校と地域住民との交流が深まることや住民の生きがいになることなど、事業の有益性が報告されている。

3. 施策の総合評価と今後の方向

総合評価	B	<p>子どもたちの健やかな育ちと豊かな学びを地域社会全体で保障する仕組みをつくるため、放課後の居場所づくりやPTA を中心とした家庭での学習習慣の定着、地域で学校を支える組織の設置等に取り組んできた。 結果として学び場や支援体制、人員確保、支援方法などの仕組みはかなり整えることができた。</p>
今後の方向		<p>それぞれの取組の「質の向上」を特に重視し、他の施策との関連も整理しながら施策の拡充に取り組む。また、放課後対策を軸としつつも「学校」を中心として地域社会全体が子どもたちを支える仕組みづくりを支援する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 放課後の居場所・学び場の質の向上を図る。 <ul style="list-style-type: none"> 開催日数の増加、減免制度の拡充、学習環境の向上、人材の資質向上 情報の共有、学校との連携 など 子どもの生活リズムの改善のためには、PTA への啓発など、保護者と協働した取組を継続して行い、長期的に検証していくことが必要である。 学校を地域ぐるみで支援する仕組み（学校支援地域本部）は、今後の教育活動を充実させるために必要不可欠であり、未実施の市町村への設置を働きかけるとともに、すでに実施している市町村にも活動の充実を働きかけていく。